

まち歩きワークショップ・地域懇談会実施結果

まち歩きワークショップの実施結果

A 班 鉄道駅周辺・道路のバリアフリー状況を中心に確認します

日時 平成 27 年 7 月 15 日 (水) ※現地確認：14 時～15 時 50 分

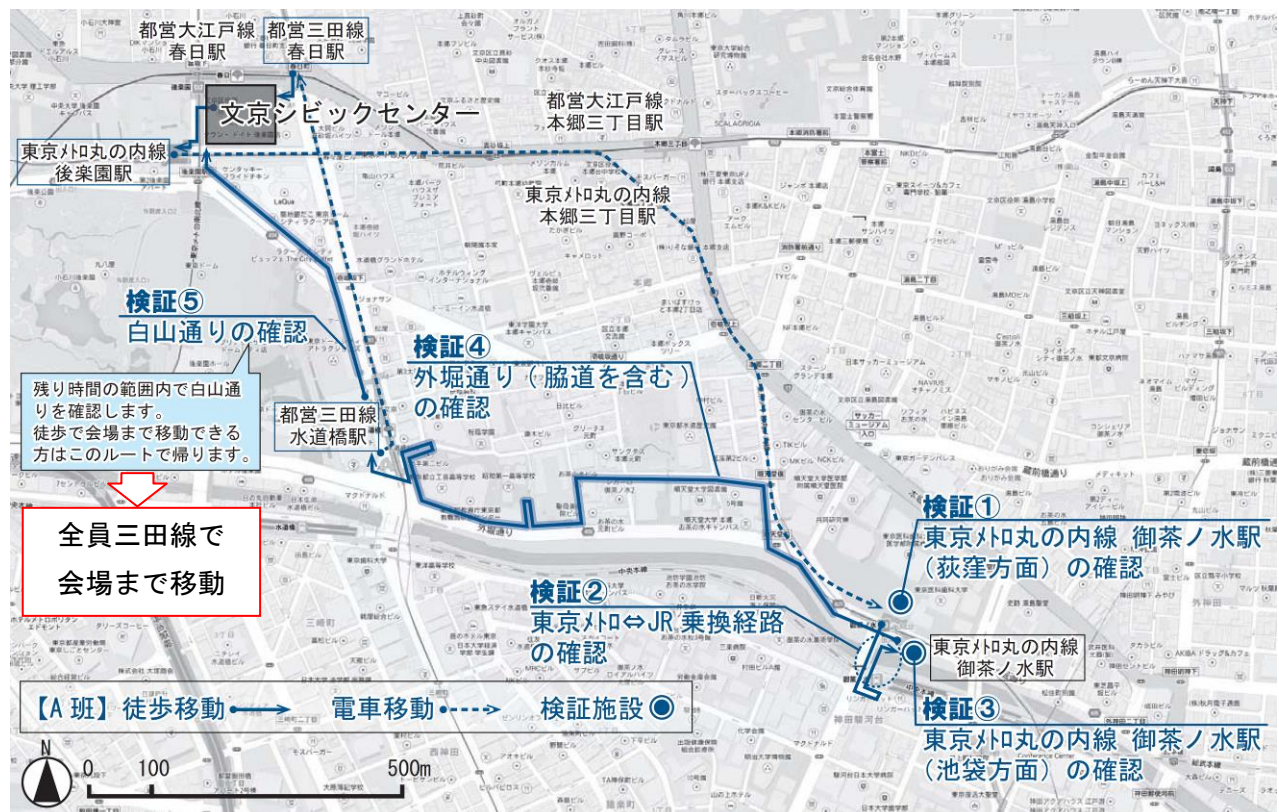
会場 文京シビックセンター

●タイムスケジュール

時間	点検	移動	施設名	点検内容等
14:00			会場:文京シビックセンター	地下2階 改札前のEVで移動
14:00		0:10	徒歩 100	
14:10		0:05	東京メトロ丸ノ内線 後楽園駅 乗車	駅構内のバリアフリー状況等を確認 ※5番出口
14:15			東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車	
14:15	0:15		東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅(荻窪方面)	ホーム、トイレ、改札周辺、地上出口等を確認
14:30	0:15		東京メトロ ⇄ JR乗り換え経路	バリアフリー経路、案内サイン等を確認、JR御茶ノ水橋口改札でUターン
14:45	0:10		東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅(池袋方面)	改札外のみ検証(池袋方面はトイレがないことを確認)
14:55	0:30		外堀通り(脇道を含む)の確認 1000	歩道のバリアフリー状況、歩道のない道路、坂道等を確認
15:25	0:10		白山通りの確認	歩道のバリアフリー状況、歩行者と自転車の分離等を確認
15:35		0:05	都営三田線 水道橋駅 乗車	駅構内のバリアフリー状況等を確認 ※A1出口
15:40			都営三田線 春日駅 下車	駅構内のバリアフリー状況を確認 ※5番出口
15:40		0:10	徒歩 100	地下2階からそのままシビックセンターへ
15:50			会場:文京シビックセンター	
合計	1:20	0:30	徒歩合計(単位:m) 1200	

備考 ※外堀通り脇道の坂は勾配が急なため目視による確認のみ
※体力のある方は、水道橋駅から乗車せず、そのまま徒歩で会場へ(徒歩の際には後楽園駅前歩道橋もあわせて確認)

●ルート図



検証① 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅（荻窪方面）

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

出入口・通路

△視覚障害者誘導用ブロックが遠回りになるようなルートを通っている。
△出入口をもう少し分かりやすくしてほしい。

改札周辺(改札口・券売機など)

△券売機や精算機の高さや角度、タッチパネルなどが車いす使用者にとって使いづらい。
（写真1）
△点字の運賃表の前まで視覚障害者誘導用ブロックが敷かれていない。
△車いすが通れる改札の位置が分かりづらい。

ホーム

○ホームが広くて良い。
○ホームドアが設置されているのが良い。
△ホームドアのドア位置の点字表示があるが、垂直面のため読みづらい（少し斜めにせり出したものの方が良い）。（写真2）
△ホームの電灯が間引いてあり暗い。
△ホームと電車の隙間が怖い。
△座れるところ（ベンチ）が少ない。
△行きたい車両まで視覚障害者誘導用ブロックが敷かれていない。
△走行音の反響により電車の方向が分かりづらい。

エレベーター

△エレベーターがないところがある。
△エスカレーターがない。
△基準は満足していても、車いすのタイプによっては、エレベーターの広さが十分でないものがある。
・エレベーターの鏡や延長ボタンなど、規格を細かくすべきである。

階段

○階段の端部に境界表示があるのが良い。

トイレ

○幅の広いスロープや手すりがあって良い。（写真3）
○トイレの入口の表示が大きくて分かりやすい。（写真4）
△入口に段差があり、不便である。（写真5）
△視覚障害者誘導用ブロックが個室まで続いていない。
△障害者を介助する際に、荷物を置ける場所があると良い。
△多機能トイレは視覚障害者の方にとっては、トイレ内が広すぎる。
・性別の違いも考慮してバリアフリー化の設計を行うべきである。

案内

○英語の案内については表記がされており、問題ない。
△特にエレベーターの案内が不十分である。
△中国語や韓国語の案内が少なく、車内放送による案内は日本語と英語のみである。
△構内図だけでなく、大きな周辺地図もあると良い。
△路線図に路線名の表示をわかりやすく記載してほしい（よりわかりやすく）。
△音声案内がもっとあっても良い。
△非常口の表示は上方だけでなく、車いすの視点も考慮し目線の高さにもほしい。

心のバリアフリー

△内臓疾患の方に対して、車内で席を譲る人が少ない。

その他

△視覚障害者誘導用ブロックのメンテナンスが不十分である。

写真1

車いす使用者に不便な券売機



写真2

ホームドアの点字が垂直面



写真3

幅の広いスロープ



写真4

大きくて分かりやすい表示



写真5

トイレの入り口に段差



検証② 東京メトロ⇔JR 乗換経路

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

案内

- △視覚障害者誘導用ブロックが剥がれている箇所が多いため、メンテナンスを行い、連続性を持たせてほしい。
- △千代田区にある視覚障害者用の案内が文京区にもあると良い。（写真6）
- △バス停の音声案内がほしい。

道路

- 最近フラット化された駅前の歩道は良い。（写真7）
- △隙間の多い舗装は危険である。
- △自転車レーン上の看板は撤去すべきである（千代田区内道路）。（写真8）
- △音声ガイドを全般的に増やすべきである。
- △JR 御茶ノ水駅前のバス停付近の溝が危険であるため、埋めてほしい。
- △歩道の歪みは転倒の原因となり、危険である。
- △東京メトロ御茶ノ水駅前の横断歩道接続部の勾配が大きい。（写真9）

交差点（横断歩道、信号機など）

- 歩車道の境界のブロックが段差も 2cm 程度あり滑らかで良い。（写真 10）
- △時間帯によって信号の音声案内がないため、必要な時に音声案内が利用できるようなれば良い。
- △東京メトロ御茶ノ水駅前の交差点の歩行者用青信号（東京メトロ御茶ノ水駅⇒順天堂病院方向）の時間が短い（渡りきれない）。

その他

- △JR 御茶ノ水駅前のピンコロ石の舗装ががたついて危険である。
- △タクシー乗り場は歩道から直接乗り込む形式のため車いすでの移乗が困難である。
- △バスの案内の英語表示は終点のみである。
- △バス停やタクシー乗り場にベンチがあると良い。

写真6

音声案内

(千代田区 JR御茶ノ水駅前)



写真7

整備された歩道

(千代田区 茗溪通り)



写真8

自転車レーン上のカラーコーン

(千代田区 茗溪通り)



写真9

横断歩道への急な勾配



写真10

適切な歩車道境界段差

(千代田区 茗溪通り)



検証④ 道路

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

幹線道路(外堀通り・白山通りなど広い歩道がある道路)

- △歩道上にベンチが少ない。
- △日陰とベンチが歩道にほしい。
- △歩道上のポールをイスとしても利用できるような形にできれば良い。
- △電線類の地中化をして電柱をなくしてほしい。
- △歩道の歪みは転倒の原因となり、危険である。

生活道路(区道など歩道の狭い道路や歩道のない道路)

- △元町公園横の道路が狭く、車いす使用者や障害者は歩きづらい。
- △歩道に傾斜や歪みが多く、突然勾配が変わるところもあり、危険である。
- △マンホールが滑って危険である。
- △ガードレールと放置自転車が歩道の幅員を狭くしている。(写真 11)

交差点(横断歩道、信号機など)

- △エスコートゾーンがない横断歩道が多い。特に幅員の広い道路では危険に感じる。
- △交通量が多い交差点で、横断歩道の信号青時間が短い。
- △水道橋交差点の横断歩道接続部の歩道は勾配が大きい(14%程度)。(写真 12)
- △音声案内のない信号機がある。
- △順天堂前交差点で視覚障害者誘導用ブロックが途中で途切れている(途中まで連続設置)。

坂道

- △勾配が緩い坂道が続くと、車いすに乗っていると左右にぶれて辛い。(写真 13)
- △外堀通りから北に入る坂道は手動の車いすだと下るのは危険である。(写真 14)
- △雨天時にマンホールですべる危険性がある。
- △坂道が長い箇所では休憩できる場所があるとよい。
- △民地での公開空地を活用し、ベンチなどの設置を進めてほしい。

バス停

- △バスの接近情報の表示及び音声案内がほしい。
- △車いすが乗車出来ることがわかるように、バス停の案内に車いすマークを描いてほしい。

案内

- △バス停の場所がわかる案内が少ない。
- △順天堂周辺の案内が分かりにくい。

公衆トイレ

- △公衆トイレがわかりづらい。(写真 15)
- △公衆トイレのドアが重い。
- △公衆トイレを誰でも使いやすいようにしてほしい。
 - ・まち中に誰でもトイレが少ない。介助者と被介助者で性別が異なると、誰でもトイレがないと厳しいので、街中に出にくくなる。観光客のためにも増やすべきである。

その他

- グレーチングの目地幅が大きいところがない。

全体

- △全般的に視覚障害者誘導用ブロック等のメンテナンスが出来ていない。

写真 11 ガードレールで狭い歩道



写真 12 横断歩道への急な勾配



写真 13
車いすが左右にぶれる勾配の緩い坂道



写真 14
勾配の急な坂道



写真 15 わかりにくい公衆トイレ



その他移動中に気づいた点

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

鉄道(東京メトロ丸ノ内線後樂園駅)

△券売機の高さや表示が車いす使用者にとって使いづらい仕様になっている。
△改札口に職員がいると助かる。

鉄道(都営三田線水道橋駅)

○音声付の触知案内図があるのが良い。(写真 16)
○ヘルプカードの案内が改札口や車内にあるのが良い。
○券売機が車いす使用者でも利用しやすい設計になっている(蹴込み)。(写真 17)
△視覚障害者誘導用ブロックが剥がれているところがある。

鉄道(都営三田線春日駅)

△通路の方向表示がない(全般的にわかりにくい)。

駅全体

・ホームドアはすべての駅に設置すべきである。

写真 16

音声付の触知案内図



写真 17

車いす使用者に使いやすい券売機



B班 建築物のバリアフリー状況を中心に確認します

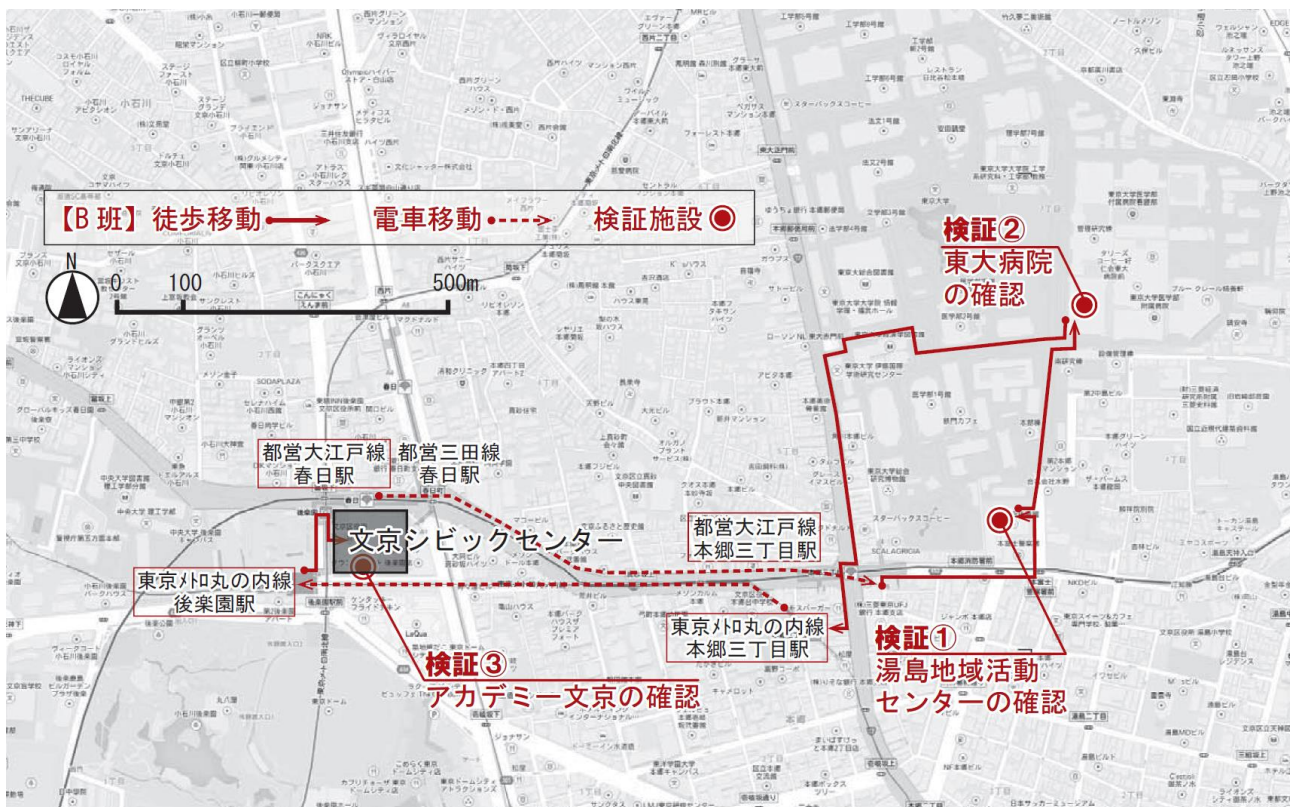
日時 平成27年7月15日(水) ※現地確認：14時～15時50分
 会場 文京シビックセンター

●タイムスケジュール

時間	点検	移動	施設名	点検内容
14:00			会場:文京シビックセンター	地下3階へ
14:00		0:05	徒歩 100	
14:05		0:05	都営大江戸線 春日駅	駅構内のバリアフリー状況を確認
14:10			都営大江戸線 本郷三丁目駅	駅構内のバリアフリー状況を確認 ※5番出口
14:10		0:10	徒歩 300	
14:20	0:20		湯島地域活動センターの確認	出入口、窓口、会議室、上下移動(エレベーター、階段)、トイレ、駐車場等を確認
14:40		0:10	徒歩 300	
14:50	0:20		東大病院の確認	出入口、受付窓口、駐車場等を確認
15:10		0:15	徒歩 900	
15:25		0:05	東京メトロ丸ノ内線 本郷三丁目駅 乗車	駅構内のバリアフリー状況を確認
15:30			東京メトロ丸ノ内線 後楽園駅 下車	駅構内のバリアフリー状況を確認
15:30		0:05	徒歩 100	地上移動、礪川公園を通り抜けてシビックセンターへ
15:35	0:15		アカデミー文京の確認	出入口、ホール、上下移動(エレベーター、階段)、トイレ等を確認
15:50			徒歩 0	
15:50			会場:文京シビックセンター	
合計	0:55	0:55	徒歩合計(単位:m) 1700	

備考 ※アカデミー文京の点検後、時間に余裕があれば、各種手続きの窓口(2階)や、シビックホールの点検を実施。

●ルート図



検証① 湯島地域活動センター

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

出入口

○広くてバリアフリーに配慮されている。

△視覚障害者誘導用ブロックがマットで塞がれている。また、高齢者等がつまづく危険もある。（写真1）

△地域活動センターが奥に位置していてわかりづらいので、入口に音声案内を設置してほしい。

敷地内通路

△視覚障害者誘導用ブロックが玄関から歩道手前まで設置されているが、歩道に設置されておらず、道路からの誘導がない。すぐ近くのバス停に設置された視覚障害者誘導用ブロックとつながっていると良い。（写真2）

建物内通路

○全体的に広く、ベンチが多くて良い。

△出入口から体育館受付まで視覚障害者誘導用ブロックが設置されているが、地域活動センターまでの誘導がまったくない。体育館の職員が案内してくれるらしいが、忙しい時などは本当に対応してくれるのか不安である。見えない方でも1人で移動できるように視覚障害者誘導用ブロックや手すりを設置してほしい。（写真3）

エレベーター

○広くて使いやすい。

△音声ガイドがほしい。

△エレベーター内に閉じ込められるなど緊急時に、耳の聞こえない方でも状況を把握し外部とやりとりができるモニター等があると良い。

トイレ共通

○各階に多機能トイレや一般トイレが設置されており、数が多くて良い。

△トイレにたどり着くまでに曲がり角が多くてわかりづらい。

多機能トイレ

△荷物を掛けるフックや棚がほしい。オストメイト対応設備の上に棚があるが、位置が高くて車いすの方は荷物を置くことができない。（写真4）

一般トイレ

○扉が内開きだと個室が狭いとき出入りするのが大変だが、ここは便器の前が広々としているので良い。

○個室の荷物を掛けるフックが高い位置だけでなく、低い位置にもあったので良い。

△フックにもう少し重い荷物がかけられるとなお良い。

△個室に手すりがない。多機能トイレが使用中の場合は、杖を使う方や高齢者も一般トイレを使うので、手すりを設置してほしい。（写真5）

△男女トイレにもおむつ交換台があると良い。

授乳室

△カーテンを設置してほしい。

受付・窓口

○高さが低いカウンターがあって良い。（写真6）

○筆談器が設置されていなかったが、受付に手話ができる職員の方がいたのでよかった。

文京総合体育館

○更衣室が広くて使いやすいそう。

△地下1階の靴を脱ぐスペースが狭い。

△地下1階は土足禁止であるが、肢体不自由の方等は靴底を雑巾で拭くなど、靴を履いたままでも利用できると良い（装具を外すと歩きにくい等）。

△地下1階の靴を脱ぐスペースにインターホンが設置されているが、椅子に隠れて押しづらい。

△多目的更衣室は全てタイル張りで床に荷物が置けず、使い勝手が悪そう。また、冬は非常に寒い。（写真7）

△更衣室の床材がでこぼこしており、片足で歩くと痛い。

△プールにスロープがあると良い。

△プールに入る際、手すりのある位置まで移動するのが大変なので、プールサイドに手すりを設置してほしい。また、水に濡れても大丈夫な車いすが利用できると良い。

案内

△トイレのサインが小さく、高い位置にあるのでわかりづらい。（写真8）

△男女トイレの区別がわかりづらいので、触知案内図や音声による案内を設置してほしい。

△サインは様々な方向から見やすいものが良い（壁と垂直のサイン表示を三角形にする等）。

△視覚障害者で点字を読めない方が多くいるので、触ってわかるサイン表示があると良い。（トイレのサインは男女の形が判別できるようなものにする等）

△地域活動センターが奥まったところにあるので、出入口から場所がわかりづらい。

心のバリアフリー

○笑顔で対応しており接遇が良い印象である。

全体

○広々としていて爽やかな雰囲気が良い。全体的にガラス張りで明るい。

写真 1
塞がれた視覚障害者誘導用ブロック



写真 2 敷地内に接続していない視覚障害者誘導用ブロック



写真 3 視覚障害者誘導用ブロックや手すりのない館内



写真 4
荷物棚のない多機能トイレ

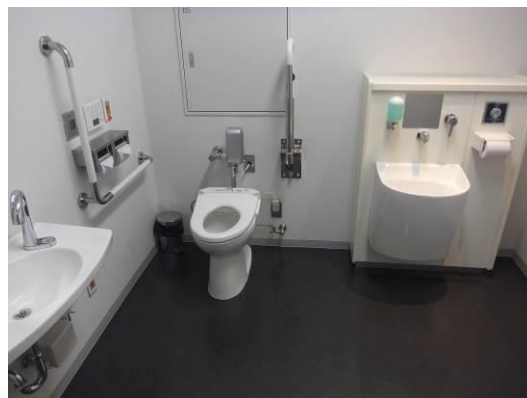


写真 5 手すりのない一般トイレの個室



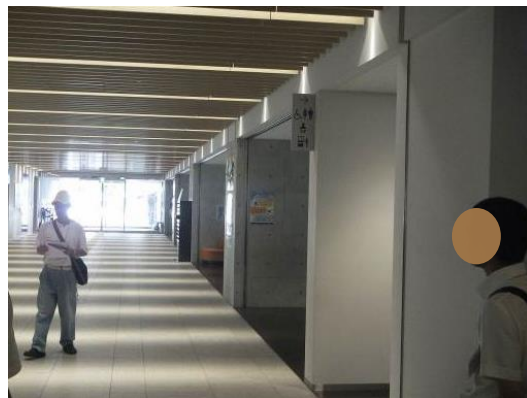
写真 6 低くて使いやすいカウンター



写真 7 使い勝手の悪い更衣室



写真 8 わかりにくいトイレのサイン



検証② 東大病院

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

出入口

- 車いすや歩行車の貸出が多く備えられていて良い。
- タクシー乗降場が近くて良い。
- △貸出用の車いす等の器具が置かれ、通路幅が狭くなっているところもあったが、きれいに整頓されていたのでよかった。

敷地内通路（東大内）

- △龍岡門から病院までの歩道の横方向の傾斜がきつい。また段差が大きい。（写真1）
- △タクシーやバス降車場から病院入口までの案内が不足している。警備員など案内してくれる人を配置するか、視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい（駒込病院は受付までブロック設置あり）。（写真2）
- △病院付近の交差点の横断歩道手前の歩道は、勾配が急なところがあり、足の悪い方や車いすの方にはきつい。
- △構内は速度制限があるにも関わらず、スピードを出しているタクシーが多くて危険である。横断歩道や信号機があると良い。

建物内通路（院内）

- 広くて移動しやすい。
- 待合スペースのソファが長椅子ではなくて座りやすい。
- ソファの背もたれが平坦でないので立ち上がりやすそう。
- △ソファに手すりがあるとよい。
- △人の出入りが多い時間帯などはひとの流れが錯綜してそう。右側通行などが徹底されているわけでもない。

エレベーター

- △エレベーター内に閉じ込められるなど緊急時に、耳の聞こえない方でも状況を把握し外部とやりとりができるモニター等があると良い。

受付・窓口

- 呼出受信機の使い方など、説明の対応がやさしく丁寧で良い。
- 呼出受信機を実際に使ったことがあるが、非常に便利だった。他の病院にもあると良い。
- 出入口の正面に受付がないのでややわかりにくいが見回すと遠くからでも案内板を確認できたのでよかった。
- △呼出受信機の音がなくても、画面の文字が見えないのでどこに行けば良いのかわからない。そのため、ヘルパーと一緒にないと病院を利用できない。読み上げ機能などがあると良い。

案内

- トイレの表示が大きくてわかりやすい。
- △トイレ前に音声案内を設置してほしい。
- △棟やエリアで色分けしてほしい。自分がどこにいるのか、どのエリアを目指すのか色で判断できるとわかりやすい。
- △各階の案内板がもっと大きくても良い。

駐車場

△駒込病院は身体障害者手帳を見せると駐車料金が無料になる。車でしか来られない方もいるので、無料にしてほしい。

△駐車場の位置が悪く、外来診療棟と距離がある。

心のバリアフリー

○職員による人的対応の充実に向けた姿勢が非常に好印象であり、安心して利用できる。

○手話のできるボランティアもいるとのことだったので良い。

○看護師さんが1時間おきに待合室をラウンドしていて良い。

全体

○清潔な感じがして良い。

△全体的に薄暗い気がした。

写真1 横方向の勾配がきつい歩道



写真2 案内の少ない病院入口周辺



その他移動中に気づいた点

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

鉄道共通

- 肢体不自由の方は優先席であっても手すりの横の席でないと座れない。最近の車両は長い座席の真ん中にも手すりが付いたのでありがたい。
- 大江戸線は、ヘルプマークの表示がホーム柵や車両に表示されているので、障害者にも優しいと思った。（写真1）
- △エレベーターの入口や奥行が狭く、11人乗りであるが車いすの方がいると2~3人しか乗れない。21人乗りだと余裕があって良い。（写真2）
- △駅によって視覚障害者誘導用ブロックの設置方法が異なり、可動式ホーム柵では正面に誘導する場合と横に誘導する場合がある。点字の設置についても同様であり、統一してほしい。
- △駅員に声をかけると案内誘導等を対応してくれるが、降車駅との調整などもあるため、電車に乗れるまでに時間がかかって大変である。
- △駅の見え目がどこも同じなので、慣れていない外国人などにはわかりにくい。壁の色を変えるなどもっとわかりやすくなると良い。
- △エレベーター内に閉じ込められるなど緊急時に、耳の聞こえない方でも状況を把握し外部とやりとりができるモニター等があると良い。
- △車両のモニターに路線図が表示されて良いが、もっと大きな表示が良い。

鉄道（都営大江戸線春日駅）

- スロープ板がなくても車いすの乗り降りがスムーズにできるので良い。（写真3）
- △改札周辺は案内表示が多く煩雑である。一箇所にまとめると共に、マークを併記するなどわかりやすいように工夫した方が良い。（写真4）
- △ラッチ外のエレベーターは、待機スペースが狭く、車いすでエレベーターを利用すると視覚障害者誘導用ブロックに乗り上げてしまう。（写真5）

鉄道（都営大江戸線本郷三丁目駅）

- サイン表示が大きくてわかりやすい。
- △スロープにも視覚障害者誘導用ブロックを設置してほしい（5番出口）。（写真6）
- △エレベーターのドアがずっと閉まってしまった。電車の音でアナウンスが聞こえなかったのか、配慮が必要である。
- △ホームにベンチが少ない。
- △改札前に音声案内付の構内図が設置されていたが、音声がでなくて使用できなかった。（写真7）
- △5番出口はエレベーターを乗り換えないといけなくて大変である。

道路

- △本郷消防署前の歩道（春日通り）の横方向の傾斜がきつい。
- △こんにやくえんま前交差点は、民地側の方が低いため、横断歩道を渡るとき上り坂になるうえ、車道との段差が大きくて危険である。

建築物共通

- △公共性の高い施設は、視覚障害者誘導用ブロックや音声案内などの設置方法を統一してほしい。
- △エレベーター内に閉じ込められるなど緊急時に、耳の聞こえない方でも状況を把握し外部とやりとりができるモニター等があると良い。

写真 1
ホーム柵のヘルプマークの表示



写真 2
車いす使用者には狭いエレベーター

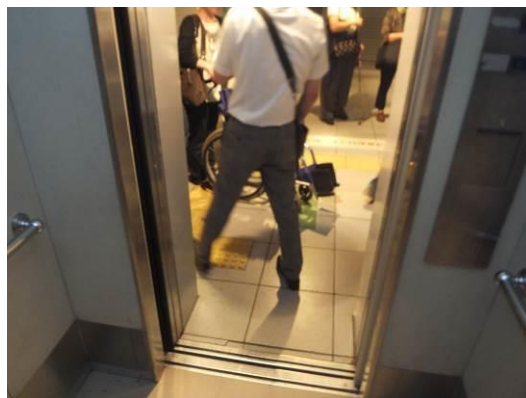


写真 3 スロープ板が不要なホーム



写真 4 煩雑でわかりにくいサイン



写真 5 車いすの待機スペースが狭いエレベーター前



写真 6 視覚障害者誘導用ブロックのないスロープ

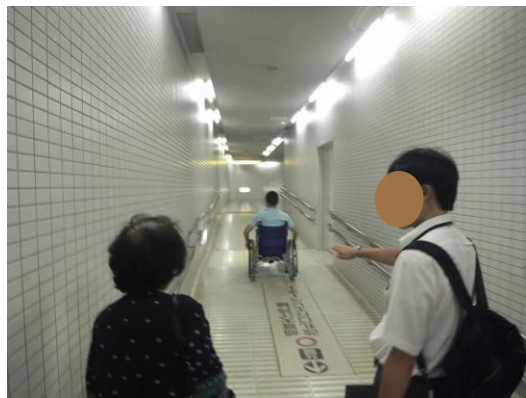


写真 7 音声の出ない構内図



C班 都市公園のバリアフリー状況を中心に確認します

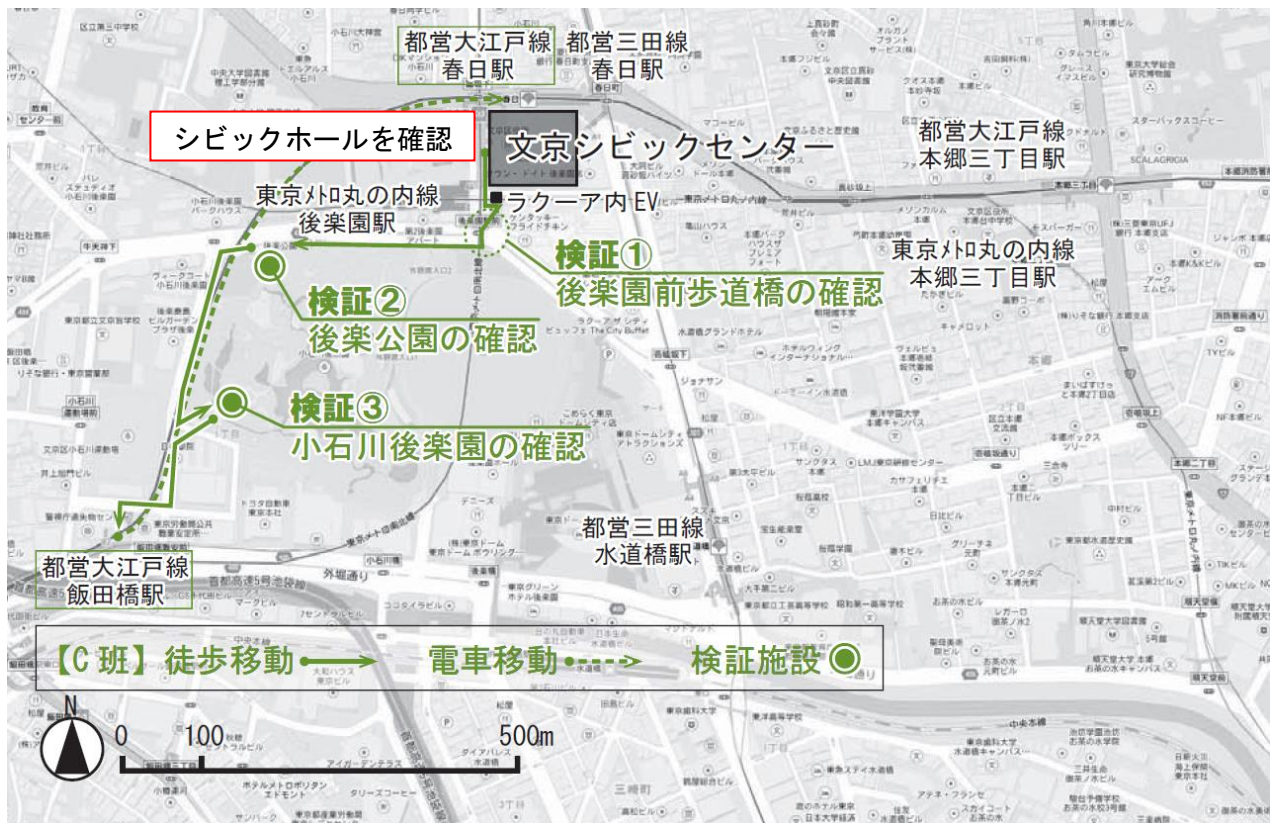
日時 平成27年7月15日(水) ※現地確認：14時～15時50分

会場 文京シビックセンター

●タイムスケジュール

時間	点検	移動	施設名	点検内容
14:00			会場: 文京シビックセンター	
14:00		0:05	徒歩 100	ラクーアのEVを利用
14:05	0:15		後楽園駅前歩道橋の確認	スロープ、階段、通路等を確認
14:20		0:05	徒歩 200	
14:25	0:15		後楽園公園の確認	園路(バリアフリー経路)、トイレ、休憩施設等を確認
14:40		0:05	徒歩 100	
14:45	0:40		小石川後楽園の確認	園路(バリアフリー経路)、トイレ、休憩施設等を確認
15:25		0:10	徒歩 200	
15:35		0:05	都営大江戸線 飯田橋駅 乗車	駅構内のバリアフリー状況を確認 ※C3出口
15:40			都営大江戸線 春日駅 下車	駅構内のバリアフリー状況を確認 ※5番出口
15:40		0:10	徒歩 100	
15:50			会場: 文京シビックセンター	
合計	1:10	0:40	徒歩合計(単位:m) 500	

●ルート図



検証① 後樂園駅前歩道橋

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

上下移動（エレベーター）

- △ラクーア側の1基しか歩道橋に上られるエレベーターがないのは不便である。
- △後樂園駅から東京ドーム方面への唯一のバリアフリー経路であると考え、エレベーターが狭い。
- △エレベーターの案内が少なく、知らなければ存在に気付かない。（写真1）
- △ラクーアの敷地入口からエレベーターへの視覚障害者誘導用ブロックがあると良い。（写真1）
- △エレベーターには音だけでなく電光掲示による案内が欲しい。

スロープ

- 歩道橋と東京ドーム敷地との間の階段脇にスロープがつけられていた。（写真2）
- △階段脇のスロープ入口が狭く感じた（80cm程度）。（写真2）
- △階段脇のスロープを使うと、チケット売り場へ方面の動線が遠回りになる。
- △道路への搬入用スロープは、三角のタイルで、滑り止めが施されていたのは良いが、車いすでは斜めのデザインに前輪がとられジグザグ移動してしまった。（写真3）
- △道路への搬入用スロープは長くて急であり、手すりの位置が110cm程度と高すぎ、利用しにくい。（写真3）
- △スロープが長い時は、途中で休めるところがあると良い。

階段

- △階段に手すりがあると良い。幅が広いので中央部にもあると良いが、イベント時など人が多いときがあることを考えると難しい可能性がある。（写真4）
- △階段部に視覚障害者誘導用ブロックがあると良い。（写真4）

通路

- 歩道橋の通路は十分に広い。

案内

- △歩道橋付近には地下鉄駅方面への案内しかない。各階段の先に何があるか案内があると良い。
- △視覚障害者に対応した情報がない。
- △野球やイベント時など人通りが多い時があることを想定した案内が必要。

写真 1 案内や視覚障害者誘導用ブロックのないエレベーター



写真 2 入口の狭い歩道橋のスロープ



写真 3 長くて急で、手すりの位置が高いスロープ



写真 4 手すりや視覚障害者誘導用ブロックのない階段



検証② 後楽公園

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

出入口 △出入口に視覚障害者誘導用ブロックがあると良い（段差のある入口を含む）。（写真5）
園路 ○出入口に車いすマークがあり、公園内を取り囲むように舗装された園路がある。（写真6） ○舗装されていない部分でも、路面は十分しまっているの車いすでも入れる。 △園路に沿って小石川後楽園方面へ行けそうに思えたが、途中から舗装がなくなり、ガタガタの道になるので、舗装するか、行けないことがわかるように案内があると良い。（写真7） △小石川後楽園方面へつながる裏道は歩きにくく、夜は怖いのではないかと。（写真7）
トイレ ○屋外のトイレにしてはきれいに管理されている。 ○トイレが道路側を向いているので安心感がある。 ○非常時に中から伝えられるフラッシュライトがあるのは良い。（写真8） ○オストメイト用流し、着替え台などがあり、設備が充実している。（写真9） △道路の視覚障害者誘導用ブロックはトイレへは繋がっていない。 △流すボタンと非常ボタンが並んでいて、表示が小さくわかりにくい。（写真10） △手かざしで流すのはわかりづらいので、自動洗浄タイプが良いのではないかと。 △杖の置場がない。 △子供用便座があると良い。 △移乗することを考えるとつかまれる場所が少ない。 △大人用ベッドがあると良い。
休憩施設 ○水飲み場が車いす対応で、周囲も舗装されていてぬかるむ心配がない。（写真11） ○出っぱなしにならない蛇口は工夫されている。 △ベンチが少ない。 △日影が少ない。
案内 △後楽園駅方面からはトイレの存在がわかりにくいので、何のために車いすマークがついているのかわからない。 △園内に小石川後楽園方面への案内板があるが、公園の入口付近にあると良い。（写真12） △トイレの案内板はあるが、視覚障害者対応ではない。音声案内があると良いが騒音問題もあるため、シグナルエイド対応になると良い。（写真13）
その他 ○公園全体が道路から少し低くなっており、道路を歩く人と視線がぶつからない。 ○全体的に開放的で視線が通るため、防犯的にも安心感がある。 △トイレにより死角が生まれている箇所がある。隣のグラウンドとの間は少しうっそうとしている。

写真5

視覚障害者誘導用ブロックのない出入口

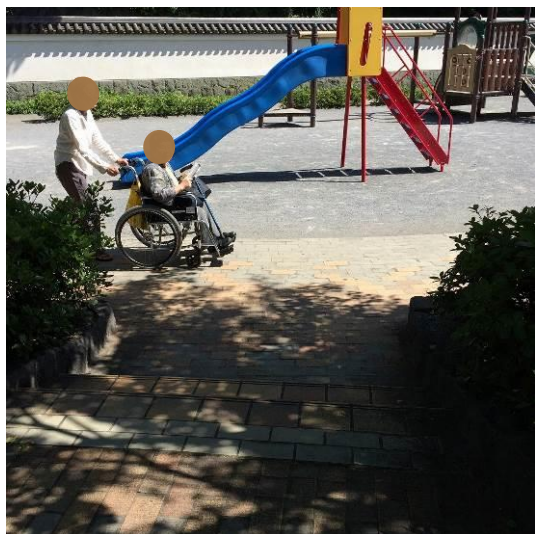


写真6

舗装された園路



写真7 歩きにくい裏道



写真8 フラッシュライトのあるトイレ



写真9 設備の充実した多機能トイレ



写真 10 表示の分かりにくいトイレのボタン

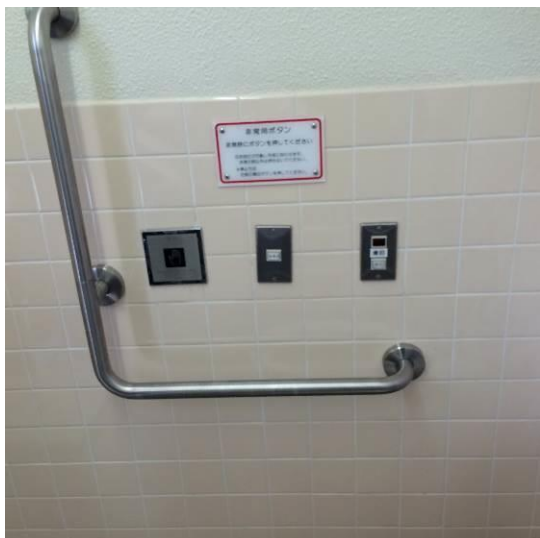


写真 11 車いす使用者に対応した水飲み場



写真 12

公園内のみにある案内表示



写真 13

視覚障害者に対応していないトイレの案内



検証③ 小石川後樂園

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

出入口 △出入口付近から砂利であり、普通の車いすでは移動がかなり困難である。(写真 14) △塀が高すぎて見通しが悪く、人とぶつかるのではないかと心配になる。(写真 14)
受付・入場 △耳マークや筆談対応の案内がない。(写真 15)
園路 △土が出てしまっている箇所がある。 △砂利道は歩きにくい。 △工事中の仮設の園路にもバリアフリーへの配慮があると良い。
トイレ ○建物内のトイレは、ウォッシュレットに点字がついていた。 ○手のひらで押せる流すボタンは押しやすい。(ホタテ貝型) △自分で電気をつける必要があり、ボタンがわかりにくかった。 △便器が斜めに設置されており、移乗のための手すりなどが使いにくいのではない か。(写真 16) △園内のトイレは、車いす用トイレがある案内があるが、そこまでの経路がバリアフ リーではなくたどり着けないので、案内しない方が良い。(写真 17)
休憩施設 ○涵徳亭は使いやすい。 △涵徳亭の入口はスロープになっていたが、建物内の部分にも段との境目に柵がある と良い。(写真 18) △ベンチがあったが暑すぎたので、日影に休めるところを増やしてほしい。 △水飲み場のレバーが小さく調節しにくい。
案内 △視覚的な情報中心であり、視覚障害者向け情報（音声など）がない。 △受付の案内の文字が高い位置にあり、高齢者などには見づらい。(写真 15) △受付で障害者割引などの情報をわかりやすく表示してほしい。(写真 15) △車いすで入れる範囲があらかじめ分かると良い。 △園内で現在地がわかる案内がもう少しあると良い。
その他（人的対応（心のバリアフリー）など） ○砂利道用の車いすが貸し出されており、乗り心地・押し心地も良い。(写真 19) △砂利道用の車いすが複数貸し出されると良い。 △砂利道用の車いすは、麻痺などのある人には移乗が難しそう。

写真 14 車いすでの移動が困難な砂利道



写真 15

文字情報の位置が高く、筆談対応の案内などのない受付



写真 16 便器が斜めに設置されたトイレ



写真 17 バリアフリー化されていない車いす用トイレまでの経路



写真 18 柵のない建物内スロープ



写真 19 砂利道用の車いすの貸し出し



その他移動中に気づいた点

●気づいた点（良い点…○、悪い点・改善点…△）

道路・信号機

- 飯田橋駅など、道路と敷地側の視覚障害者誘導用ブロックが連続しているところがある。（写真 20）
- △シグナルエイド対応の音響式信号機を増やしてほしい。
- △夜間に信号機の音響を止めないでほしい。
- △細い道では植栽の根上がりがあり、舗装ががたついている。（写真 21）
- △グレーチングの溝が大きい箇所があり、つまづきやすい。
- △マンホールと舗装面の間に段が生じているところがある。
- △移動中にもっと休めるところがあると良い。
- △視覚障害者誘導用ブロックの種類がいろいろあったが、ゴム製のものなどですり減っている（車が通る部分など）と白杖や足の裏ではわかりにくい。（写真 22）
- △狭い道で視覚障害者誘導用ブロックの幅が広すぎると（舗装の2列分で40cm程度）、ベビーカーや車いす利用者のタイヤが触れてしまい通行の支障になる。（写真 21）

都営飯田橋駅

- 出入口にスロープ、エレベーターが整備されている。（写真 23）
- △駅周辺に色々な動線（職安への誘導、階段、エレベーターなど）があり、視覚障害者には駅の出入口を判断しにくい。（写真 20）
- △エスカレーターについて、駅入口付近は下り運行だが、途中から上り運行だけになる。高齢者などは下ることが困難な人が多いので、最初に案内がないと困る。
- △すべての駅に地上からホームまでのエレベーターを整備してほしい。
- △駅員のいない改札ではインターホンがあるが、モニター設置など、聴覚障害者向けに代替の対応を検討してほしい。（写真 24）

都営春日駅

- △駅から文京シビックセンターへの動線が、バリアフリーだと直結の連絡口を利用できないことがわかりにくい。
- △駅側の階数表示（B1・B2）とシビックセンター（B2・B3）の階数表示がずれているのでわかりにくい。エレベーターに案内があると良い。

シビックホール

- 古い施設だが、車いす用の観覧席がある。（写真 25）
- △車いす用の観覧席は1階部分にしかない。
- 磁気ループ対応している。
- △磁気ループ対応があることが認知されておらず、使うかどうかは主催者判断となっているため、使われていることが少ないのではないか。
- △小ホールには磁気ループ対応がない。

写真 20 道路と連続した敷地内の視覚障害者誘導用ブロック



写真 21 植栽の根上がりや舗装のがたつきが目立つ歩道



写真 22 すり減って分かりにくい視覚障害者誘導用ブロック（写真左側部分）



写真 23 スロープやエレベーターが整備された出入口

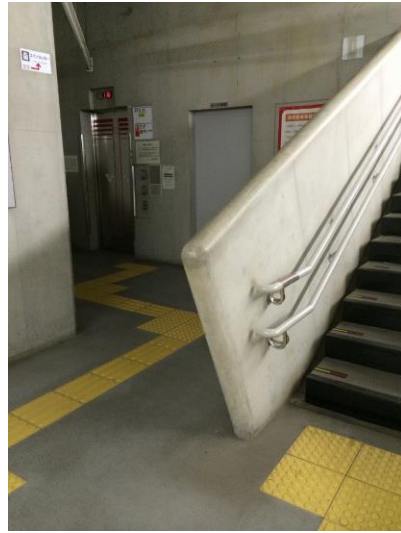


写真 24 聴覚障害者に対応していない無人改札



写真 25 車いす用の観覧席



地域懇談会の実施結果

都心地域

黒：よく使う施設



■個別の地点・路線についての意見

赤★：地点（道路・信号機など）に関すること 赤ー：路線に関すること

- 1ー：千川通り
 - ・舗装のがたつきなどがひどく、杖先がはまり先端のゴムが外れるなど管理状態が悪い。
 - ・歩道が横方向に傾斜しており、車いすの通行に支障がある。
 - ・放置自転車がが多く、横断柵に立てかけられたりしている。幅員が狭くなったり、自転車が風で転倒したりなど危ない。
 - ・自転車利用者が多く、歩道上をスピードを出して通行し危ない。
- 2★：春日町交差点
 - ・中央分離帯に歩車道境界の段差や視覚障害者誘導用ブロックがないため、視覚障害者は中央分離帯を認識できない。
 - ・エスコートゾーンが設置されておりよい。
 - ・歩行者用の青信号が短くお年寄りには渡りきれない。
- 3★：壱岐坂下交差点
 - ・横断歩道が斜めに設けられており、視覚障害者が渡る時は危険であり利用を避けている。エスコートゾーンが必要。
- 4★：御茶ノ水駅前の交差点
 - ・利用者が多く歩道が狭く通行しづらい。音響式信号機がなかったような気がする。
- 5：湯島一丁目一帯
 - ・バスの利用が不便な地域である。高齢者はシルバーパスを持っているため極力バスを利用したいと思っているが、バスが近くにないため地下鉄を利用することになる。
 - ・Bーぐるがあるとよい。
- 6：ラクーア⇄東京ドーム⇄後楽園駅
 - ・後楽園駅から東京ドーム方面は、階段があり行けない。
 - ・車いすはラクーアからまわることになるが、経路が複雑で分かりにくい。
- 7★：シビックセンター前のバス停留所
 - ・シビック側の花壇のところには人が座っており幅員が狭くなっている。
 - ・歩道を自転車が通っているため危険である。

■個別の施設についての意見 青■

- 1：シビックセンター
 - ・工事期間中で点状ブロック上にゴム製のマットが敷かれているが、中に空気が入っているところなどは、滑って危険である。
 - ・低層階用のエレベーターには視覚障害者誘導用ブロックが設置されていないと思われる。
 - ・福祉関係の課が8、9階にあるが、一般的に他の役所では1、2階の低層に設けられることが多い。
 - ・エレベーターホールでエレベーターを待っている際に、エレベーターが何階にあるかわからない。エレベーターを待つ時間が長いので、表示などあった方がよい。
 - ・昔はあったが、作業所などで作ったものを販売する場所がない。地下2階で月2回程度販売する機会はあるが、暑すぎるなど環境が悪い。
 - ・大ホールの外で喫煙しているのは問題である。
- 2：区民センター（改修中）
 - ・区民センター横の歩道が狭く、その歩道上に区民センターを利用する自転車が放置されたり荷捌き車両が乗り上げて駐車しており歩道が利用できない。
- 3：湯島総合センター
 - ・近くは坂が多く高齢者にとっては利用しづらい。
 - ・建物の3階にセンターはあるが、靴を脱いで利用する施設であり、中に段差がある。
 - ・洋式便所が最近設置されたが高さが低い。
- 4：メトロ・エム後楽園
 - ・車いす用のトイレがなく、駅のトイレを使うようにと言われたことがある。
- 5：ラクーア・ドンキホーテ
 - ・車いすで利用しやすい建築物である。
- 6：都営三田線春日駅
 - ・春日駅からシビックセンターに行くルートが複雑で分かりにくい。
 - ・あおい書店前にエレベーターを設置する計画があることを聞いているが、まだ設置されていない。
 - ・区民センターから三田線春日駅に行くところにエレベーターがあるとよい。
- 7：東京メトロ湯島駅
 - ・階段が長い。エレベーターがあるがホームが長く、利用したい側と別の改札口になるなど不便である。
- 8：東京メトロ御茶ノ水駅
 - ・エレベーターはあるが利用者が多く、病院も近く高齢者が多いことからエスカレーターがあるとよい。

■その他の意見（心のバリアフリー）

- ・エスカレーターの右空きの習慣は、片麻痺の人にとっては困る。最近案内されているようにエスカレーターの利用時のマナー向上が必要である。
- ・自転車が歩道を走っており危険。目の不自由な人にとっては白杖が巻き込まれるなどの事故が起きている。自転車が安心して車道を走れるようにした方がいい（自転車レーンなど）。
- ・子ども乗せ自転車がシビックセンターの方に向かってのを見かけるが、車道を逆走しており危険である。
- ・杖を利用しており階段利用時には人の流れを逆行せざるを得ない場合があるが、その際ににらまれることがある。
- ・バリアフリーマップを多様な参加者（学校や大学、子育てなど）と一緒に作るような取り組みをしてはどうか。外国語表記やトイレの位置など示すマップを共同で作ることで心のバリアフリーにもつながるのではないか。
- ・文京区は学校や大学が多いことも特徴であり、連携して何か取り組むことも考えられる。

■地区全体に関すること

- 歩道**
- ・坂道も多いため、もっと街中にベンチを置いた方がいい。
 - ・歩車道の境界段差 2cm は視覚障害者の歩車道境界の認知と車いすの通行性を考慮した段差なので必ず守ってほしい。
 - ・視覚障害者誘導用ブロックをどの道にもつけてほしい。
 - ・視覚障害者誘導用ブロックの色彩は弱視者のことも考慮して黄色にしてほしい。自転車に対しても注意喚起の効果があると思われる。
 - ・視覚障害者誘導用ブロックが車いす利用者や高齢者にとっても通行しづらい要因となっているため、大きさをもう少し小さくするなどできないか。

建築物

- ・居酒屋などトイレに車いすマークなどを張っているが、狭くて使えない場合が多い。
- ・階段の始終点の段で、蹴上の高さが異なる場合があり危険である。
- ・エレベーターの中にも電光掲示やモニターなど映像でコミュニケーションが取れる設備があると便利。
- ・受付などで耳マークがあると、安心して聞きやすい。

信号機等

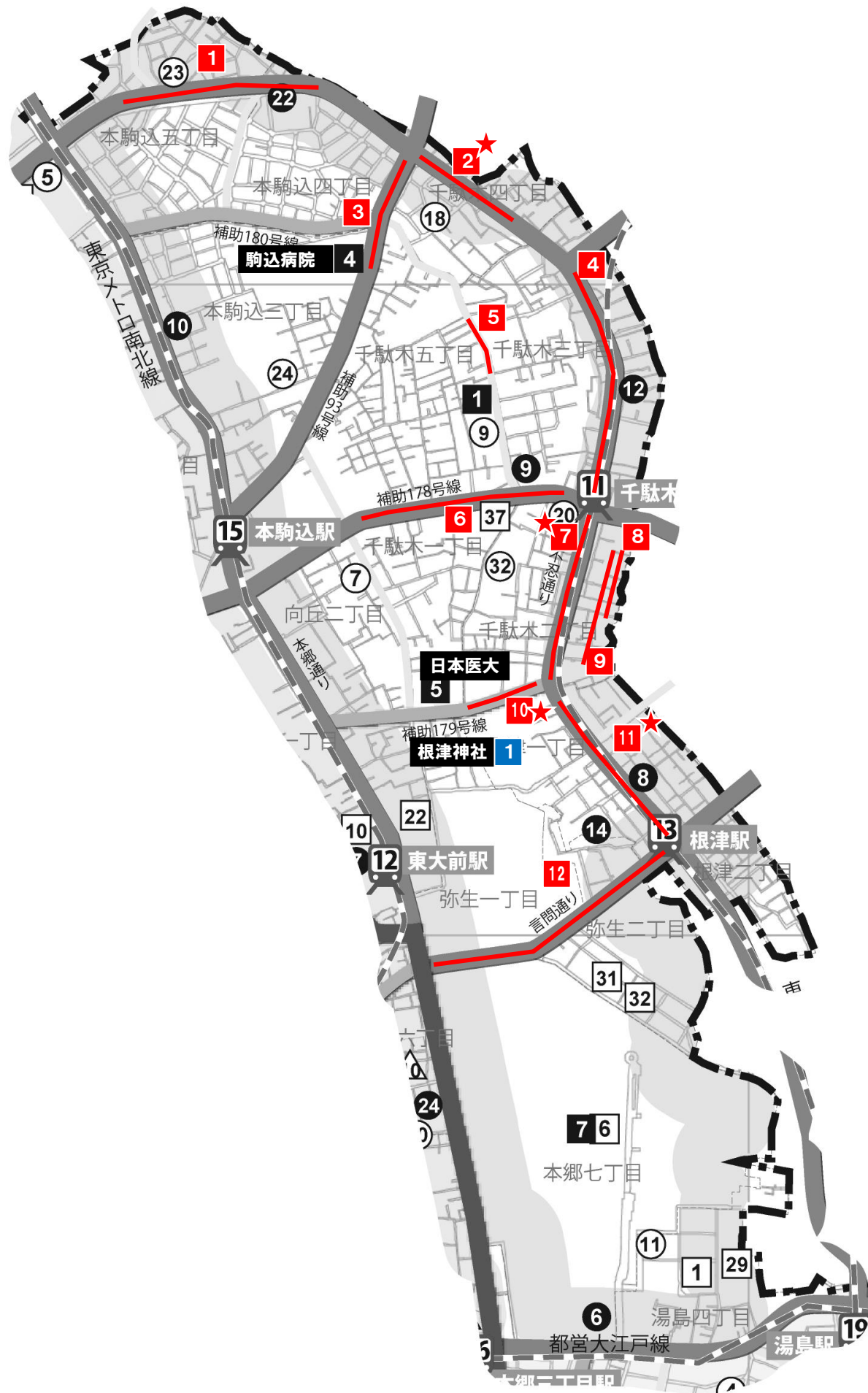
- ・信号に残り時間表示があるとわかりやすい（視覚情報が頼りの聴覚障害者にとっても必要）。
- ・エスコートゾーンの設置を推進してほしい。

公園等

- ・公園などが避難場所等となる場合があると思われるが、放送だけでなく電光掲示板など文字情報があるとよい（聴覚障害者や耳の遠くなった高齢者にも有効）。

下町隣接地域

黒：よく使う施設



■個別の施設についての意見 青■

1：根津神社のつつじ祭りに行きたいが、階段や石畳などがあり、車いすで行くことは難しい。また、トイレの場所も、車いすでは行くのはほぼ不可能である。

■個別の地点・路線についての意見 赤★：地点（道路・信号機など）に関する事 赤―：路線に関する事

- 1―：不忍通りは坂道かつ道幅が狭く、車いすでは通りづらい。
- 2★：動坂下付近は一部歩道が狭くなっており、バス停も通行の妨げになる。
- 3―：動坂下交差点から駒込病院にかけての坂道がきつく通りづらい。
- 4―：不忍通り沿いの歩道は狭く、真ん中に電柱が立っていたり、勾配があるため車いすでは通りづらい。また、音声ガイドがないため、視覚障害者にとっても歩きづらい。
- 5―：千駄木小学校から団子坂上交差点にかけての歩道は、狭く通りづらい場所がある。
- 6―：団子坂の通りは路上駐車が多く、通行の妨げとなる。
- 7★：千駄木駅周辺の不忍通りは自転車の駐輪が多い。また、歩道が狭く、勾配（車道側へ斜めに傾いているなど）もあるため通りづらい。
- 8―：谷中から根津・千駄木を訪れる観光客が多く、人ごみのため車いすでは通りづらい。
- 9―：不忍通りの裏道は比較的通りやすいが、買い物等をするには表通りに出るしかないため、幹線道路沿い等の大きな通りのバリアフリー化をしてもらいたい。
- 10★：日本医大の前の通りは道が狭く、自転車の駐輪も多いため通りづらい
- 11★：建物が歩道側に出っ張っていたり引っ込んでいたり凹凸があるため通りづらい。
- 12―：言問通りは狭くて通りづらい。

■地区全体に関する事、その他の意見

歩道

- ・狭い歩道が多く点在している。
- ・歩道の勾配や舗装のガタガタは、歩行者にも車いすにも危険と感じる。
- ・バス停や電柱、自転車や車の駐輪・駐車などが、歩行や車いすでの通行を妨げている場所が多い。
- ・坂道や勾配など歩道自体を改善することは困難かもしれないが、せめて、幹線道路沿いや坂道沿いを中心にベンチなどを点在させ、途中で休憩できる空間を整備してもらえると助かる。
- ・街路樹を植えるなど、歩いていて気持ちの良い歩道をつくってほしい。

案内

- ・音声案内がない箇所がある。
- ・駅に案内標識を設置してほしい(駅員に聞きづらい)。
- ・主要施設への案内板があると良い(人に道を聞くのにも気を使うため)。
- ・地下鉄での案内(車両事故等の緊急時の情報)は、放送だけでなく文字での情報もほしい。

心のバリアフリー

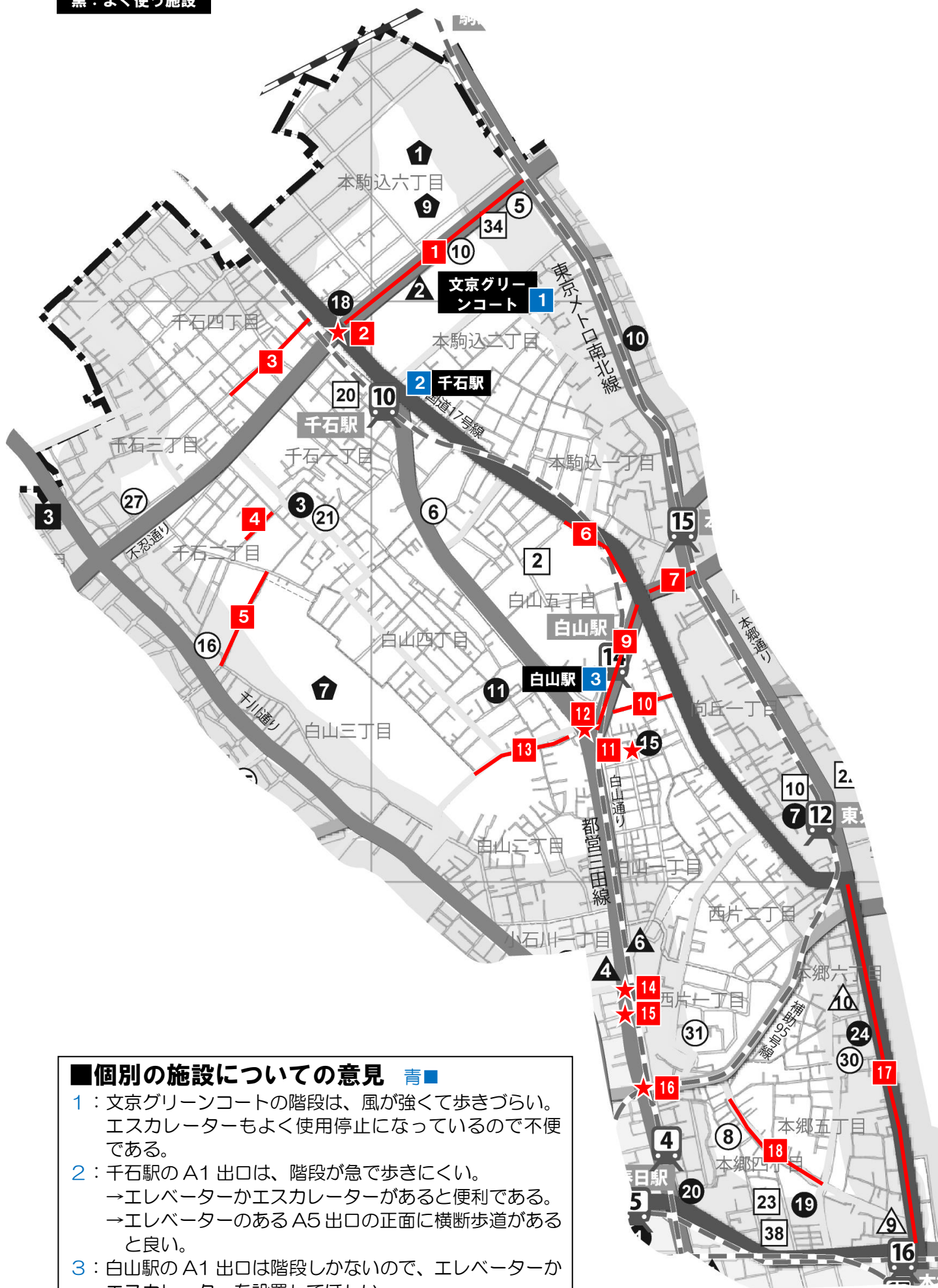
- ・歩行中、自転車を乗りながらのスマホ・携帯電話の操作などの危険性を自覚してほしい。
- ・災害時の避難について、どのように行動すればよいか分からず、不安である。また、避難所での生活においても、障害について周囲の理解が得られるか不安である。
- ・周囲の理解(障害者、高齢者への)と助け合いが必要である。

教育

- ・子どもからあいさつしてくれるのはうれしい。学校教育などを通じて、小さい頃から高齢者や障害者にあいさつをする習慣をつけ、地域内に顔見知りを増やしていければ良い。
- ・障害を持つ子どもも普通学級へ受け入れる環境をつくってほしい。そうすることで、障害者への理解が得られる。

山の手地域東部

黒：よく使う施設



■個別の施設についての意見 青■

- 1：文京グリーンコートは、風が強くて歩きづらい。エスカレーターもよく使用停止になっているので不便である。
- 2：千石駅のA1出口は、階段が急で歩きにくい。
→エレベーターかエスカレーターがあると便利である。
→エレベーターのあるA5出口の正面に横断歩道があると良い。
- 3：白山駅のA1出口は階段しかないので、エレベーターかエスカレーターを設置してほしい。

■個別の地点・路線についての意見 赤★：地点（道路・信号機など）に関する事 赤-：路線に関する事

- 1-：不忍通りは、歩道が狭いので拡幅してほしい。（全体的に歩道が狭い）
 - 2★：千石一丁目交差点の歩行者用信号機の青時間が短い。また、中央分離帯の段差が大きい。
 - 3-：千石の商店街は、歩道いっぱい商品陳列して危ない。歩道上にはモノを置かないようにしてほしい。
 - 4-：林町小学校前の歩道は、狭いうえに郵便ポスト等の障害物が多い。
 - 5-：小石川植物園の北側に面する歩道の幅員が狭い。
 - 6-：旧白山通りの東洋大学周辺は、学生が多く、携帯や友達同士の話しに夢中になっていて、ぶつかることが多く、危険である。また、歩道の舗装が粗く、車いすやベビーカーのタイヤが引っかかる。
 - 7-：本駒込駅と白山駅の間は、人が多くて通りにくい。
 - 8★：白山上バス停は都バスとB-ぐるの乗り継ぎが悪い（バス停の位置、バスの時間など）。
 - 9-：補助178号線（白山上と白山下を結ぶ旧白山通り）は、歩道が狭く人が多いうえに、放置自転車が多い。白山上交差点・白山下交差点は、交差点の作りが複雑で視覚障害者にはわかりづらい。エスコートゾーンを設置するなど横断歩道の方向がわかるようにしてほしい。
 - 10-：白山下交差点から東側の坂道の勾配がきつい。
 - 11★：白山一丁目児童遊園の横の階段は、縁を色付けして段差があることがわかるようにしてほしい。
 - 12★：白山下交差点の歩行者用信号機の青時間が短い。
 - 13-：御殿坂の歩道が狭い。
 - 14★15★16★：西片交差点等の歩行者用信号機の青時間が短い。
 - 17-：本郷通りの東大周辺は、舗装がガタガタして通りづらい。また、沿道店舗の看板など不法占用物が多くて通りづらい。
 - 18-：菊坂は歩道が狭く、車いすは車道を通行するしかない。上道と下道を結ぶ階段に手すりがついて便利になった。
- 場所不明：千石四丁目にあるマンション前の公開空地に車止めが設置されておりつまずくなど危険である。

■地区全体に関する事、その他の意見

大通り（本郷通り、白山通りなど）

- ・歩道に切り下げ部が多くて歩きにくい。
- ・歩道に電柱があると危険である。
- ・白山通りなどはもっと木陰があると良い。
- ・将来的には歩道の拡幅が望ましいが、短期的な取組も進めてほしい。
→がたつき解消など歩道の部分改修。
→歩道上にモノを置かないなどやさしいまちづくりの推進。
→電柱を移設する、信号を長くするなどの事業者側の配慮。

生活道路

- ・カーブミラーが少ないので、交差点部などにもっと設置してほしい。
- ・民地の高さにすりつけるためのスロープ板はつまずくなど危険である。条例等で設置してはいけないことになっているが、実際には設置しているところが多いため、取締りなどが必要である。
- ・保健所通りは「コミュニティ道路」として整備され、非常に歩きやすくなった良い例である。他の道路でも展開してほしい。

信号機

- ・大通り（本郷通り、白山通りなど）は、横断歩道が長くて時間内に渡りきることができないので、青時間を長くしてほしい。

バス

- ・バス停留所を設置する歩道は、嵩上げするとともに十分な幅員を確保してほしい。
- ・バスの運転手によって乗降のしやすさが異なる。バスの正着や二ーリングを徹底してほしい。
- ・B-ぐるに白山下交差点から北上するルートがあると便利である。

鉄道

- ・エスカレーターが上りしか設置されていないところが多いが、高齢者等は下りの階段の方が怖いので、下りのエスカレーターも設置してほしい。

案内

- ・主要施設は大通りから一本中に入った細道に面していることが多く場所がわかりづらい。
→大通りから細道に入る交差点に音の案内を設置。（盲導鈴、シグナルエイドで反応する設備など）
→大通りから細道に入る交差点に案内板を設置。
→施設まで連続した視覚障害者誘導用ブロックを設置。

ソフト面

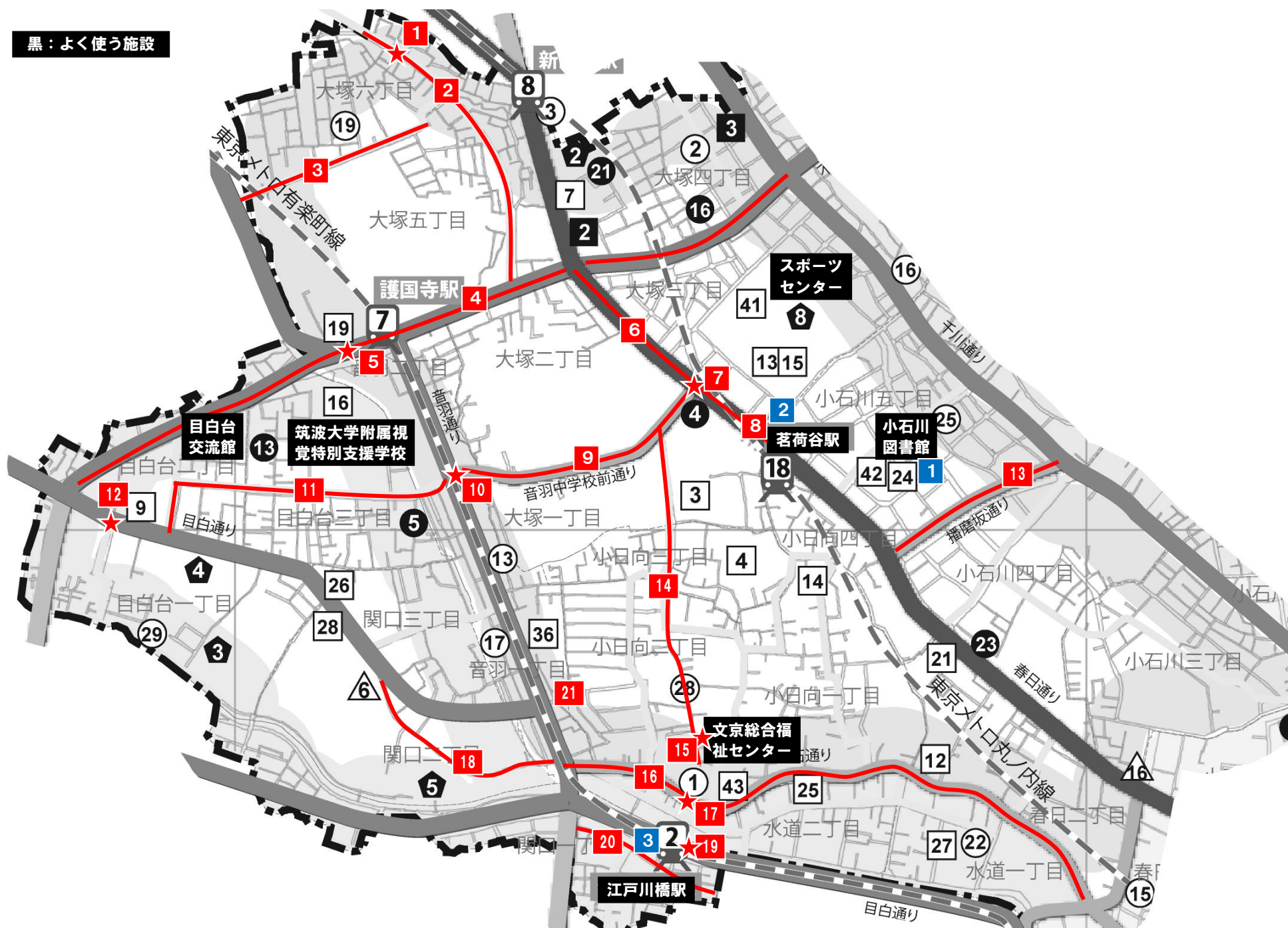
- ・自転車利用者のマナーが悪い。
- ・区役所にバリアフリーのワンストップ窓口を設置してほしい。また、区民意見への対応が可視化できるようにしてほしい。
- ・バリアフリーの報告会を毎年度実施するなど、継続的な取組をしてほしい。
- ・坂道などの高低差マップを作成し、勾配や段差の大きさが一目でわかると良い。

その他（他地区共通）

- ・郵便ポストの数が少ない。また、掲示板を利用する方が多いので、郵便ポストと掲示板がセットで設置するとともに、全体的に数が増えると良い。
- ・電気自動車は音が静かなので怖い。

山の手地域中央・山の手地域西部

黒：よく使う施設



■個別の地点・路線についての意見

赤★：地点（道路・信号機など）に関する事 赤ー：路線に関する事

- 1★：坂下通りに横断歩道を設置してほしい（要望している）。
- 2ー：坂下通りは歩道が狭く勾配がついている。
- 3ー：通学路であるが、歩道が狭くて危険である（一部広げもらった）。
- 4ー：不忍通りは、大塚三丁目以西で歩道ががたついていて危ない。盲学校が近くにあるので、視覚障害者が周辺を多く利用している。
- 5★：不忍通りの歩道橋は手すり片側しかなく、杖を使う人は困る。
- 6ー：春日通りの自転車通行帯は怖くてあまり使われていないのではないかと。茗荷谷駅周辺は歩道が斜めになっており、歩車道に段差がある。
- 7★：春日通りと音羽中学校前通りの交差点は、三叉路であり信号が変則的である。子供が多く使うが、右折専用信号が短すぎて危険である。また、車止めが低すぎて視覚障害者がつまずく。
- 8★：茗荷谷駅前にスポーツセンターへのわかりやすい案内がほしい。茗荷谷駅周辺は駐輪が多い。
- 9ー：音羽中学校前通りは坂道が急で歩道が狭いので、身体能力が落ちている知的・精神障害者はすれ違いが怖いときがある。
- 10★・11ー：音羽通りの交差点は利用が多く、枝道の歩行者がたまってしまっているのが危険である（盲学校への動線でもある）。
- 12★：日本女子大前の歩道橋は利用が少ないが、歩道を狭めている。
- 13ー：播磨坂通りは整備されているが、ブロックの施工が悪くがたついている箇所がある。
- 14ー：跡見学園裏の通りは電柱の位置が悪く歩いているとぶつかる（視覚障害者）。
- 15★：都営アパート前の車止めが低すぎて視覚障害者がつまずく。
- 16ー：巻石通りは歩道が狭く傾いている。ゴミ出しによりさらに狭くなっている。災害時など福祉センターへの避難を考えると不安。
- 17★：福祉センター前のバス停は乗換ポイントなので屋根がほしい。
- 18ー：椿山荘への坂道はかなり急だが片側歩道しかないのが怖い。
- 19★：江戸川橋駅周辺は駐輪が多い。
- 20ー：地蔵通りの商店街は自転車走り抜けるのが怖い。
- 21ー：音羽1丁目周辺の裏道はがたついた道が多い。

■地区全体に関する事、その他の意見

歩道整備

- ・工事で掘り返したところは舗装がデコボコになっている。
- ・歩車道境界に車いすが降りやすいように溝をつけているところがある。
- ・どこに行っても坂道ばかりで、年を取ってから大変と思うようになった。
- ・急すぎる坂は雨の日に滑るので、滑りにくい舗装などに配慮してほしい。
- ・視覚障害者誘導用ブロックはつまずいたり滑ったりして危険なので、避けて通っている。ベビーカーや車いすにとっても通行の支障となっていることがある。
- ・視覚障害者としても、視覚障害者誘導用ブロックは必要ではあるがつまずきの原因になっている。白線で溝を切るタイプにしてはどうかと提案したことがある。また、白杖には磁石が入っているので、交差点部などで鉄板を敷いてくれば感知できる。
- ・視覚障害者誘導用ブロックの敷き方が適切でないと思われる部分が多くある。

信号機など

- ・高齢になった知的・精神障害者などは、広い道路では信号が青の間に渡りきれずに横断が苦痛になっている。
- ・他区では青時間延長の押しボタンがあるので文京区でも設置してほしい。
- ・残り時間表示式の信号機を増やしてほしい。

マナー

- ・通学路では子供の通学マナーが悪く、狭い道で譲りあいできていない。
- ・駅周辺の駐輪問題は、警察が取り締まりを厳しくすれば改善するのではないかと。

案内

- ・聴覚障害者は視覚情報が頼りなので、目で見えてわかる情報をまちなかに増やしてほしい。
- ・緊急時の情報がわかるような電光掲示は、駅周辺では増えてきているが、その他の場所でも増えるとよい。
- ・誘導サインは視線より高いところにあるため、弱視などの場合は存在に気付かない。駅や道路で路面標示（色線による誘導や施設案内の舗装への埋め込みなど）を活用してほしい。
- ・案内サインの盤面などでは、色覚障害の人に配慮し、色だけでなく形の違いで情報を説明してほしい。
- ・住所表示板は、コントラストが低いものが多く、古くなっていると見えにくい。
- ・トイレの案内表示などは、デザインに凝るあまり内容がわかりにくいものがある。
- ・公共的な案内や書類などで使う文字は、デザインよりも見やすさを重視したフォントを使ってほしい。

山の手地域中央・西部の特徴について

- ・文京総合福祉センターや盲学校を有する地域であり、多数の障害者等が利用しているため、江戸川橋駅～巻石通り～文京総合福祉センター周辺のバリアフリーは重点的に取り組む必要がある。
- ・Bーぐるが混んでいるときは、ドライバーが譲り合いについてアナウンスしてほしい。

■個別の施設についての意見

- 1：小石川図書館にエレベーターがほしい。
- 2：茗荷谷駅のトイレ表示はわかりやすい。
- 3：江戸川橋駅はエレベーター設置が進んでいるが、エスカレーターが途中で終わってしまうので、高齢者は困っている。